

第1回 尼崎西宮芦屋港 港湾計画検討会 議事要旨

1 開催日時 令和2年2月17日(月) 15:00～16:30

2 開催場所 ラッセホール (B1階) パンジー

3 出席者 (敬称略、五十音順)

安部賢 (近畿地方整備局港湾空港部長)
石黒一彦 (神戸大学大学院准教授)
鶴山久 (神戸運輸管理部海事振興部長)
北田正広 (西宮市副市長)
北本淳 (ひょうご埠頭株式会社代表取締役専務)
黒崎昭夫 (西宮海上保安署長)
佐藤徳治 (芦屋副市長) ※代理出席 山城都市建設部参事
竹林幹雄 (神戸大学大学院教授) 【会長】
辰馬章夫 (西宮商工会議所会頭) ※代理出席 野島常務理事
田中みさ子 (大阪産業大学教授)
成岡英彦 (阪神南県民センター長)
濱浩二 (県土整備部長) ※代理出席 高谷県土安全参事
松本泰則 (尼崎西宮港運協会会長)
森山敏夫 (尼崎副市長)
山縣宣彦 (一般財団法人みなと総合研究財団理事長)
吉田修 (尼崎商工会議所会頭) ※代理出席 芝専務理事
全委員19名中、代理を含め16名が出席
※ 欠席委員3名

4 議事

- 1) 会長の選出
- 2) 尼崎西宮芦屋港の港湾計画改訂について

5 質疑応答

○地元からの提案について

| 質問内容【質問者】 | 回答 |
|--|---|
| 港のあり方、まちづくり、産業政策の視点も踏まえて、尼崎西宮港運協会・尼崎商工会議所・尼崎市で「尼崎港将来像検討会」を立ち上げ、9回ほど議論を行ってきた。バンプールやコールドチェーンといったアイデアも出てきており、とりまとめたため、この検討会の場でもぜひ提出させて頂きたい。 【松本委員】 | 地元市と一緒に考えて頂いていることは非常にありがたい。検討会でも議論し、少しでも計画に盛り込んでいきたい。 |

○市民意見の反映について

| 質問内容【質問者】 | 回答 |
|--|---|
| <p>アンケートやヒアリングはどのような企業を対象に実施しているのか。企業種、企業数、方法などについて教えてほしい。</p> <p>一般市民目線では、港湾計画はやや縁遠いものを感じられるため、港湾ユーザーの意見だけでなく、市民アンケートや意識調査を参照するなど広く一般市民の意見も取り入れた計画にしていきたい。 【北田委員】</p> | <p>平成30年度より港周辺の事業者計186社にアンケートを実施し回答内容を分析している。加えて港湾ユーザーを中心に個別ヒアリングを実施している。</p> <p>今後は港湾ユーザーだけでなく内陸側の物流事業者、荷主等に対しても、幅広く尼崎西宮芦屋港の認知度や利用意向、課題等を聴取していく。</p> |

○道路計画について

| 質問内容【質問者】 | 回答 |
|---|---|
| <p>物流ネットワークを考える際、現状として渋滞に非常に苦慮しているため、東西及び南北道路の整備拡充を県市の連携により対応頂きたい。 【松本委員】</p> <p>阪神間は東西路・南北路ともに道路容量が全く足りていない。特に国道43号などは時間帯によって非常に混雑しているため、県としても対応を考えて頂きたい。 【竹林会長】</p> | <p>五合橋線の混雑問題は認識しており、港湾から北側内陸部へ交通負荷を与えないように港湾エリア内で東西連絡の強化を図ることを検討していきたい。</p> <p>また港湾エリア外の北側では移動円滑化を図るため、東西及び南北における道路の対策については、道路管理者である尼崎市等と調整しながら検討したい。</p> |

○災害ガレキ対策について

| 質問内容【質問者】 | 回答 |
|---|--|
| <p>災害ガレキの処理は現行の長期構想に示されていない内容か。</p> <p>南海トラフ巨大地震によりどのくらいのガレキが発生し、どこで処分するか県で計画はあるか。</p> <p>災害ガレキについては、港湾エリアで受け持つべき役割は大きい。大阪府、大阪市、神戸市、国の指導も得ながら、大阪湾全体で災害ガレキの処分について、仕分けする場所と最終的に埋める場所等議論し、尼崎西宮芦屋港の役割を考えていけない。 【山縣委員】</p> | <p>現行の長期構想では災害ガレキの処理については考慮、記載していない。</p> <p>南海トラフ巨大地震発生時の災害ガレキは莫大であると予想され、内陸部に処分可能な場所はない。実際には尼崎西宮芦屋港の埋立中の場所や臨海部の場所に仮置きしながら適地に埋めていくようになると考えている。</p> <p>国や近隣の港湾管理者とも調整も含めて、尼崎西宮芦屋港が受持つ役割について引き続き議論させて頂きたい。</p> |

○港湾施設の老朽化対策について

| 質問内容【質問者】 | 回答 |
|--|--|
| <p>港内の港湾施設について、同時期に老朽化し対策が必要になると思われるが、県として対策を検討しているか。 【田中委員】</p> | <p>兵庫県では2014年度に「ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画」を策定し、致命的な損傷が見られる施設から優先的に補修に取り組んでいる。ライフサイクルコストを考慮し計画的に維持補修を進めている。</p> |

○港湾と後背地の連携について

| 質問内容【質問者】 | 回答 |
|---|--|
| <p>尼崎市でも大型物流施設が内陸部に立地する傾向が出てきているため、港湾側と都市側をどう連携させていくかが重要である。</p> <p>尼崎市は環境と産業を両立させていくという考えのもと、モーダルシフトの動きは港湾の役割を見直せるチャンスであると考えているので、後背地を広く捉えて整理していった方がいい。</p> <p style="text-align: right;">【森山委員】</p> <p>西宮港と尼崎港の後背地には様々な特徴ある産業があり、港湾機能とどう連携させていくかが非常に重要である。</p> <p style="text-align: right;">【竹林会長】</p> | <p>港湾の機能強化は周辺産業も含めて考える必要がある。内陸部との役割分担や連携強化に加え、各市の上位計画等との整合性を図りつつ、港湾・後背地の両方向からどうあるべきかを議論していきたい。</p> <p>昨今、九州-関西間の RORO 船等の便数が増加しており、モーダルシフト需要として尼崎西宮芦屋港において活用できないかと考えている。</p> |

○大阪湾における尼崎西宮芦屋港の役割について

| 質問内容【質問者】 | 回答 |
|--|---|
| <p>大阪湾を発展させていくため、尼崎西宮芦屋港の役割は非常に重要である。</p> <p>神戸港、大阪港ともに沖合埋立地の造成が進み、尼崎西宮芦屋港の水域側へ迫りつつある。</p> <p>現行構想では、尼崎西宮芦屋港沖合に将来を見据えて描かれたであろう「留保ゾーン」が示されているが、尼崎西宮芦屋港単体ではなく大阪湾全体、阪神港の港湾空間をどう考えていくかというビジョンを複数イメージした上で、この中間に位置する尼崎西宮芦屋港をどうしていくのかを考え、少し長いスパンで構想について検討してもよいのではないかと。</p> <p style="text-align: right;">【山縣委員】</p> <p>用地不足の問題は神戸港でも発生しているため、広域的な視点が必要となる。</p> <p>神戸、大阪等との意思疎通を図り、どこに強みを持たせるか等議論していく必要がある。</p> <p style="text-align: right;">【石黒委員】</p> <p>阪神港の中間で機能するだけでなく、「大阪湾として尼崎西宮芦屋港があった方がよい」と言えるキャスティングボードを握る存在を目指すという方向性の議論をしていければと思う。</p> <p style="text-align: right;">【竹林会長】</p> | <p>将来的な構想やビジョンは「大阪湾港湾の基本構想」をベースに委員の皆様のご意見を踏まえながらしっかりと検討していきたい。</p> <p>また検討を進めていくにあたり大阪港・神戸港の港湾計画担当者ともしっかりと連携し、取組んでいきたい。</p> |